

## 部局長会議議事要旨

日 時 平成25年12月18日(水) 14時30分～15時37分

場 所 本部棟401会議室

出席者 平野総長、恵比須、東島、馬場、相本、大竹、尾山、岡村 各理事、  
阿部、江口、吉川、池田 各副学長、  
東(外)、永田(文)、平沢(人)、竹中(法)、大西(経)、篠原(理)、金田(医)、  
脇坂(歯)、堤(薬)、掛下(工)、河原(基)、木村(言)、井上(情)、濱田(生)、  
谷口(高)、片山(小児)、目加田(微)、八木(産)、長谷(蛋)、小川(社)、片山(接)、  
森崎(歯病)、沖田(国際)、橋爪(博)、岩井(日日)、中野(核)、西尾(サ)、  
疇地(レ)、江川(全) 各部部长

オブザーバー 瀧原(保)、三成(コ)、宮崎総長補佐、小川、尾崎、尾上、川端、北岡、中谷、中村、  
正城、山根 各理事補佐

欠席者 星野(国院) 研究科長

### ○ 前回議事要旨(案)の確認

前回(11月20日)の議事要旨(案)について、特に意見等があれば12月20日(金)までに総務企画部経営企画課PMTへ提出の上、確定することとした。(なお、同日までに意見の提出はなく、原案のとおり確定した。)

## 議 事

### 1 キャンパスライフ支援センターについて

上記センターの支援内容について、配付資料に基づき説明があり、各部長局構成員に周知願いたい旨の依頼があった。

### 2 平成26年度国際共同研究促進プログラムの募集について

上記プログラムの平成26年度の募集概要について、配付資料に基づき説明があり、各部長局において積極的に応募願いたい旨の依頼があった。

### 3 今後の特別研究員制度の改善について

平成25年11月22日に日本学術振興会が発表した「特別研究員制度の改善について」の概要について、配付資料に基づき説明があった。

### 4 研究における不正行為・研究費の不正使用の防止に向けた大阪大学の今後の取組について

配付資料に基づき、不正防止に向けた学内構成員に対する倫理教育の重要性について説明があり、平成26年1月20日に本学にて開催予定の「Publication Ethics Seminar」について、各部長局から積極的に参加願いたい旨の依頼があった。

### 5 安全保障輸出管理監査報告について

平成25年度の監査報告について、配付資料に基づき説明があり、各部長局において引き続き安全保障輸出管理に協力願いたい旨の依頼があった。

## 6 人権問題委員会委員の選出について

配付資料に基づき、人権問題委員会副委員長の選出について、ハラスメント相談への対応等、その役割の重要性を踏まえ、各部局に協力願いたい旨の依頼があった。

## 7 大阪大学リーダーズフォーラムの実施について

本学出身の企業経営者等を招いて平成26年2月12日（水）に開催する「大阪大学リーダーズフォーラム」について、配付資料に基づき概要の説明があり、各部局長等に積極的に参加願いたい旨の依頼があった。

## 8 「外国人教員等採用促進プログラム」による支援の申請及び選考結果について

上記プログラムへの申請及び採択結果について、配付資料に基づき説明があり、各部局において、より積極的に上記プログラムを活用願いたい旨の依頼があった。

## 9 複数経費による雇用について（案）

配付資料に基づき、外部資金等により雇用する有期雇用教職員（年俸制の任期付常勤教職員及び非常勤職員）について、複数経費による雇用を認めることとしたい旨の説明があった。

## 10 研究開発力強化法等の改正について

大学の研究者等について労働契約法の特例（有期労働契約者の無期転換申込権の発生を5年ではなく10年とする等）を定める「研究開発力強化法」及び「大学教員任期法」の一部改正（平成26年4月1日施行）について、配付資料に基づき説明があった。

## 11 AEARU 他について

平成26年12月7日、8日に国立清華大学（台湾）で開催された「AEARU-LERU President's Forum」及び「AEARU 19th Annual General Meeting & 33th Board of Directors Meeting」への参加について、配付資料に基づき報告があった。

## 12 第2回日本・インドネシア学長会議（12月13日開催）について

平成26年12月13日にガジャマダ大学（インドネシア）で開催された「第2回日本・インドネシア学長会議日程」への参加について、配付資料に基づき報告があった。

### 〔その他〕

## 1 平成26年度のRA経費について

平成26年度以降、「卓越した大学院拠点形成支援事業」補助金によるRA経費の支援が見込まれないことについて説明があり、各部局において、科研費等の外部資金の積極的な獲得を通じ、RA経費の確保に努めるよう要請があった。

## 2 高齢者雇用への対応について

平成25年度末に定年退職を迎える事務職員の再雇用状況等について報告があった。

## 3 キャンパスヘルスについて

基礎工学部の学生が結核に罹患したことへの対応として、各部局において検査のために学生が授業を退席することについて協力願いたい旨の依頼があった。また、感染拡大予防の観点から、各部局において定期健康診断受診率の向上に尽力願いたい旨の要請があった。

（以上）